

# 神奈川県 公立高校の入試制度

【2022年度版】

## 選抜概要

神奈川県の公立高校入試（全日制）は、主に一般募集1回の機会で見抜られます。

	出願期間	志願変更	試験日	合格発表
一般募集	1/25(火)~2/1(火)	2/4(金)~8(火)	学力検査 2/15(火) (面接・特色検査 16・17)	3/1(火)

県立と横須賀市立高校は学区がありません。横浜市立と川崎市立高校は市内を学区としますが、普通科（一般コース）・総合学科以外は全県から出願出来ます。※学区がある高校も人数の制限はありますが、学区外からの志願も可能です。

出願は1校1学科（コース）に限りますが、次の場合は第2希望を認めます。

- ・農業・工業・商業・水産に関する学科（同じ学校、同じ学科内）
- ・横浜国際高校 国際科 本科と国際バカロレアコース
- ・横浜市立戸塚高校 一般コースと音楽コース
- ・横浜市立横浜商業高校 別科間でも可能

○一般募集の他に、連携募集、特別募集（海外帰国生徒、在県外国人等）などがあります。

## 検査内容

一般募集は共通選抜で行われます。検査内容について確認しましょう。

共通の検査として学力検査と面接を実施します。他に必要に応じて特色検査を実施します。

- ・学力検査（原則5科、クリエイティブスクールを除く）
- ・面接（全員）
- ・特色検査（実技検査または自己表現検査、高校の特色により設定、実施した場合は学力検査を3科まで減らすことが可能）

○実技検査の内容

与えられた題材のデッサン、スポーツ種目の技能検査、楽器の演奏など

○自己表現検査

与えられたテーマに基づくスピーチによる発表、

指定したテーマについてのグループ討論、

中学校までの学習を教科横断的に活用して設問に対する答えや考えの記述 等

## 選抜方法

- 検査内容をそれぞれ点数化して、2段階で選抜します。

A 調査書の学習の記録 中2・9教科 + (中3・9教科) × 2 = 計135点満点  
※ 3教科以内を1.0~2.0倍できる

B 学力検査 各100点 = 計500点満点 (試験時間は各50分)  
※ 2教科以内を1.0~2.0倍できる

C 面接 観点ごとの点数を合計

D 特色検査 観点ごとに評価し点数化する

A~Dをそれぞれ100点満点に換算した数値を(a)~(d)とします。

(a)~(d)に掛ける比率を各高校が定め、掛けた値の合計が高い順に合格とします。第1次選考では調査書点を用いますが、第2次選考は学力検査と面接(実施した場合は+特色検査)による選考となります。

【第1次選考(S1)】 募集人員の90%までを選考

$$S1 = (a) \times f + (b) \times g + (c) \times h [+ (d) \times i]$$

【第2次選考(S2)】 残りの募集人員を選考

$$S2 = (b) \times j + (c) \times k [+ (d) \times l]$$

※ f g h, j kはそれぞれ2以上で合計10となる整数, i lは5以下の整数

- 志望校が特色検査を実施するのか、f~lの割合をいくつで設定しているのかは、早めに確認しておきましょう。

## クリエイティブスクール

「クリエイティブスクール」は、中学校までに持てる力を必ずしも十分に発揮しきれなかった生徒を積極的に受け入れ、様々な教育活動をとおして、これからの社会生活をよりよいものにする意欲と他者との関わりを大切にしながら、「社会実践力」を育む学校です。

田奈、釜利谷、横須賀南、大井、大和東の5校が指定されています。

学力検査は実施しません。2022年度は面接と特色(自己表現)検査を実施します。調査書の学習の記録は使用せず、観点別学習状況を採用します。学習意欲を高める取り組みを行う学校です。

他にも、フロンティアスクール(午前部と午後部に分かれ、1日約4時間の授業で、ゆっくり学ぶ学校)として横浜明朋、相模向陽館があります。